



○アルミ缶・ベルマーク回収
毎月一回、委員会の児童がアルミ缶とベルマーク回収のお願いに担当クラスに行っています。回収したアルミ缶で得た収益金は、池田町と揖斐川町の社会福祉協議会に寄付し、ベルマークは、PTAの方に点数を数えていただき、集まった点数は学校生活に必要な物の購入に充てています。

○ボランティア活動
学期に一、二回、水曜日の昼休みを使って、全校ボランティアをしています。学年毎に分担箇所を決め、草取り・石拾い・落ち葉拾いなどに取り組めます。黙々と草取りをする子、とった草を集める子など、自分の学校をきれいにしたいという気持ちで伝わってくる活動です。
また、一人一人がボランティアカードを持ち、シールが十枚たまると校長先生から認めのお言葉をもらっています。

美化・J・R・C委員会の活動から
養基小学校の美化・J・R・C委員会では、花の水やりやアルミ缶・ベルマーク回収、全校ボランティアの呼びかけなどの活動をしています。

組合立 養基小学校 福祉活動

～福祉協力校の活動紹介～

4年生の総合的な学習から

○西美濃さくら苑訪問



養基小学校の校区には、「西美濃さくら苑」という介護老人保健施設があります。養基小では、毎年4年生が施設を二回訪問しています。一回目は、建物の中を見学したり、車椅子やりハビリ体験などをさせてもらったりします。お年寄りや障がいのある方に優しく、安全に過ごすためのいろいろな工夫があることを学びます。二回目の訪問では、自分たちで考えた遊びで一緒に交流することにより、高齢者の気持ちを考えたり理解を深めたりしています。

○高齢者・障がい者疑似体験
一学期には、福祉協議会の方のお話を聞き、高齢者疑似体験と車椅子体験をしました。足におもりを付けて歩いたり車いすに乗ったりすると、予想以上に手足が動かせず、腰も痛くなることを実感したようです。高齢者の方の気持ちがよく分かる体験になりました。二学期の出前講座では、手話を学んだり、アイマスクをつけ白杖を使って歩いたりするなど、聴覚障がいや視覚障がいの体験をします。この体験を通して聴覚や視覚に障がいのある方とのコミュニケーションの方法を学びます。

<高齢者疑似体験の感想>

階段がどこにあるのかわからないほど目が見にくかったし、おもりが重くて足が勝手に動いてつらかった。

<手話体験の感想>

私は、「ありがとう」という手話しか知りませんでした。「はじめまして」「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」「元気」「さようなら」「ごめんなさい」の7つを手話サークルの人たちに教えてもらっておぼえることができました。もし、耳の不自由な方がいたら手話で話してみたいです。耳の不自由な方は、どこでも大変なんだなあと思いました。家では、電話やインターホンなどの音が聞こえないし、外では、自転車や車の音が聞こえません。私は、耳の聞こえない人の気持ちが少しはわかった気がしました。

